

森川定實の

原爆詩『声』（書・妻の紫峰）

核なき未来へ 息子の聖詩からのメッセージ

2019年7月27日（土）～
9月1日（日）

場 所：あけぼのパーク多賀
美術工芸展示室

滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2

森川定實（1915～2011）は、広島市への原爆投下時、勤務していた NHK 広島中央放送局内（爆心地から 1 km）で被爆しました。1950 年に瑞枝（1924～2017）と結婚。（瑞枝（森川紫峰）は書道家。）

1954 年長男、森川聖詩が誕生。転勤して 1961 年、川崎市に居を構え、生涯ここで過ごす。

原爆詩「声」は定實の作品を妻（瑞枝（森川紫峰）は書道家）が書いたものである。

定實は、1966 年、「川崎市折鶴の会」を創建し会長から名誉会長となり、神奈川県原爆被災者の会の会長も兼務した。神奈川県を日本一の被爆者対策が進む自治体とすることに貢献した。

また、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の一員としても被爆者運動のあるべき姿を指し示す役割も果たした。

本企画展では、原爆に関係する絵画や写真パネルと森川定實の「声」（森川紫峰 書）実物作品を展示します。

また、被爆二世である聖詩 氏の著書『核なき未来へ』からのメッセージを紹介します。

記念講演会

「核なき未来へ

～被爆二世からのメッセージ～」

講 師：森川聖詩 氏（神奈川県原爆被災者の会二世支部長）

日 時：8 月 17 日（土）14 時～

場 所：あけぼのパーク多賀 大会議室

＊事前申し込みはいりません。 無料です。

主 催：多賀町立文化財センター・多賀町立図書館

問い合わせ：多賀町立文化財センター TEL 0749-48-0348